



日本学術会議 情報学委員会 ITの生む課題検討分科会 主催

公開シンポジウム「災害時における ICT の役割・反省・今後 —ITによる防災への次の一手を考える—」

参加申し込み

<http://www-higashi.ist.osaka-u.ac.jp/~higashino/it-problem-symposium-2019.html>

主催: 日本学術会議 情報学委員会 ITの生む課題検討分科会

共催: 国立情報学研究所(予定)

後援: 情報処理学会(予定)

日時: 令和元年9月4日(水) 13:00-17:20

場所: 日本学術会議講堂(〒106-0032 東京都港区六本木7丁目22-34)

開催趣旨: 近年我が国は数多くの自然災害被害を受け、様々な防災・減災の取り組みがなされている。ICT 技術や携帯網の急速な進展に伴い、災害発生後の新たな情報伝達の仕組みも構築されてきている。一方で、電力網や通信網の遮断時に社会不安が増大したり偽情報が伝搬したりするなど、新たな問題も生じてきている。本シンポジウムでは、このような状況を今一度見つめ直し、ICTの役割について改めて考えるとともに、その限界を直視し、今後について議論する。

【シンポジウムプログラム】

司会: 須藤 修(日本学術会議連携会員、東京大学大学院情報学環・学際情報学府教授)

13:00 開会の挨拶: 本シンポジウムについて

喜連川 優(日本学術会議連携会員、国立情報学研究所長)

13:10 災害時における通信サービスの確保 ~北海道胆振東部地震を事例として~

宇佐見 正士(KDDI株式会社 常勤顧問)

13:40 インターネットや最新技術を活用した災害報道

児野 昭彦(日本放送協会 専務理事・技師長)

14:10 LINE を使った防災への取り組み

江口 清貴(LINE 株式会社 執行役員 公共政策・CSR 担当)

14:40 北海道での2度の大規模災害から得た災害復旧リアルタイム遠隔支援システムの必要性

川尻 峻三(北見工業大学 地域と歩む防災研究センター センター長)

15:00-15:15 休憩

15:15 新たな緊急電力供給策

越智 文雄(株式会社あかりみらい 代表取締役)

15:45 ヤマトにおける震災時の課題と今後の対応

田中 従雅(ヤマトホールディングス株式会社 常務執行役員)

16:15-16:30 休憩

16:30-17:25 総合討論「ICTをフルに活用した防災への展望」

(司会) 東野 輝夫(日本学術会議会員、大阪大学大学院情報科学研究科教授)

(コメンテーター) 宇佐見 正士(KDDI株式会社 常勤顧問)

児野 昭彦(日本放送協会 専務理事・技師長)

江口 清貴(LINE 株式会社 執行役員)

越智 文雄(株式会社あかりみらい 代表取締役)

田中 従雅(ヤマトホールディングス株式会社 常務執行役員)

喜連川 優(日本学術会議連携会員、国立情報学研究所長)

17:25 閉会の辞 安浦 寛人(日本学術会議連携会員、九州大学理事・副学長)

17:30 閉会

問い合わせ先: it-problem-staffs@net.ist.osaka-u.ac.jp (大阪大学 東野輝夫)